

Title	Historical Bibliographies (A Systematic and Annotated Guide) by E. M. Coulter and M. Gerstenfeld, 1935
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.16, No.3 (1937. 11) ,p.168(496)- 168(496)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0169">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0169</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

多大なる盡力に對して深く敬意を表すると共に、進んでは斯くの如き著者の終始たゆまざる努力が一層輝かしく結實するの目を衷心より祈らずには居られない。(菊判本文七六七頁圖版三十六葉)(會田倉吉)

### Historical Bibliographies (A System-

atic and Annotated Guide) by E. M.

Coulter and M. Gerstenfeld, 1935

史學の範圍が益々擴大し諸部門の研究が愈々細分するに至つて夥しく出版される史書の選擇は初學者はもちろん、専門家にとつても容易な業でなくなつて來た。隨つて之に對する指針を與へんとする編著も相當に出版されてゐる。中にも O. V. Langlois,

Manuel de bibliographie historique の如きは最も好評を博したものであるけれども一八九六年の初版ではもう今日の用を便しない。米國史學協會の書目編纂委員會が同國の圖書館協會と協力して編纂した A Guide to Historical Literature, edited by W.

H. Allison, S. B. Fay, A. H. Shearer and H. R. Shipman 1931の如きは最近に於ける最良著であつてこの程廉價版を出し大に便益を與へてゐるが、一般史を重んじ特殊問題に於て所々閑却せられた傾向がある。International Bibliography of Historical Science は年々刊行せられてゐるけれども初學者にとり便利であるとは言へない。その他の諸著何れも一長一短を有し一般向きなものが少ない。そこで使用上の便利といふ點に重きを置いて本書

が企てられ、一九二七年に刊行せられて好評を博した同名の書物はカリフォルニア大學圖書館學校の教授で又傑れた司書官であるクルター氏の著述であつたが、それにヨーロッパの大學で斯學に研鑽を積んだガーステンフェルド氏が參加してこの新著が生れたのである。繁簡宜しきを得たる本書は七百七十五種の書物を分類して簡明なる解題を附してある。勿論米國の學生を直指して編纂せられたものであるけれども、西洋史に關するこの方面に良著なき我が國の學生にとつても手頃な良著である。(間崎万里)

### The British Empire

By a Study Group of Members of The Royal

Institute of International Affairs, 1937.

大英帝國植民地は大體自治領 (Self-Governing Dominions) と直轄植民地に別たれ、しかもその中間に位するものもあつて、全世界に散布せる是等植民地は、併合、占領その他種々の方法を以て獲得せられた關係上、それ々々個々別々の沿革、統治關係を有し、頗る複雑である。それに大戰中に於けるその發展と活動は俄然勢力を増加し、自治領それ々々が『ネーション』を形成し、戦後國際聯盟に獨立の單位として多くはその代表者を送り、英本國に對しても對等の地位を獲得するに至つたのである(一九三一年のウェストミンスター法)。本書は是等植民地の總括的研究を試み、第一篇に於て各邦の過去及び現狀を個別的に記述し、第二篇に於てその全組織、法的關係、第三篇に於て英帝國と對外關係、